

科目区分	教員氏名	授業コード	科目名	授業の目的と概要	単位数
1.基盤教育科目	伊藤創	GLS105-Y51	日本事情	本講義の目的は、政治、社会、文化、歴史、宗教、生活習慣、社会問題など様々な側面から、日本を捉えることによって、日本への理解を深め、今後、日本が、あるいは世界がどのような方向に進んでいくべきかを議論し、論理的かつ柔軟な思考を養うことである。本授業では、時事的な問題を取り込むこと、また留学生の国籍や人数によって、比較すべき項目を柔軟にシフトしながら授業で扱う項目を変更しつつ行っていくので、本シラバスに記載されていない日本の側面を扱うこともある。	2
1.基盤教育科目	村田昌彦	RSM102-M01	地域防災減災論	本授業では、今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。 さらに、履修者には、全国的に認知されている「防災士」の資格試験の受験機会を提供し、履修者全員が「防災士」の資格取得を目指す <防災士教本、防災士試験受験料、防災士登録料（合計12,000円）の一部は、協力企業からの寄付金により補填され、自己負担金は4,000円。自己負担金は、指定する期日(授業開始前)に必要な書類に添えて納入すること。なお、試験に不合格でも返金はしません>	2
1.基盤教育科目	福田美誉	SPS902-Y03	特別研究Ⅱ (AI社会のキャリア研究)	【目的】 DX（デジタルトランスフォーメーション）社会においては、AIの活用を活用して産業界や行政で活躍するための知識やスキルが必要とされています。 この授業では、AIの基礎知識と幅広いICTのスキルセット、そして活用に必要な汎用基礎能力（協働、コミュニケーション、問題解決、プレゼンテーション）を習得することを目的としています。 【概要】 この授業は、AIやICTの活用を学習する中で、DX社会における企業内での実務を疑似体験します。 そこで、以下の学習形態をとります。 ・対面授業： 授業時間内での調べ学習やグループワークが中心となります。 第11～14回は第15回の提案発表に向け、1つのテーマに取り組みます。 グループワーク時にSlackを使用します。 ・オンライン授業：リモートワークを疑似体験する進め方となります。 ・オンデマンド授業：15～30分程度の動画を視聴し、調べ学習やレポート作成をします。	2
1.基盤教育科目	横山雅彦	FLE134-M51	TOEICストラテジーⅠ	本来、「TOEIC英語」など存在しない。英語は英語であって、TOEICのために英語を学ぶのなら、それはまったくの本末転倒である。英検やTOEFL・TOEIC、IELTSなどの資格試験は、あくまで英語学習のベンチマークにすぎない。したがって、正しく英語を学んでいるなら、とくにTOEIC対策などしなくても、高得点がとれるはずなのだが、TOEICには他の試験にはない特徴的な傾向があり、その傾向を知っていることで、得点の効率が上がることもまた事実である。 以上のことを踏まえた上で、この授業では、TOEIC L&Rに特化してその対策を講じ、450点以上の得点を目指す。とはいえ、それは春学期から学んできたGrammarやActivityの授業の土台があっはじめて可能となるのであり、そうした基礎をないがしろにしたまま、15回の講義でスコアをアップさせる魔法のようなテクニックがあるわけではない。逆に、これまでの授業に真剣に取り組んだ者は、この15回の講義でスコアを劇的にアップさせることができるだろう。	1
1.基盤教育科目	飯島葉月	ASL204-Y02	インドネシア語	【目的】 インドネシアをはじめとしたインドネシア語圏への留学に向けて、はじめてインドネシア語を学ぶ学生や、あらためてインドネシア語を基礎から学びたい学生を対象に、インドネシア語やインドネシア語圏の文化や社会等をゼロから学び・親しむことを目的とする。 【概要】 講師作成・用意の教材を中心として、インドネシア語の基礎文法から基本的な語彙やフレーズを学んでいく。ただ言語を学ぶだけでなく、インドネシアをはじめとしたインドネシア語圏の文化や社会等への理解も深めていく。	1
1.基盤教育科目 単位数合計					8
2.保健医療学部看護学科	伊藤尚子	NAD201-M51	国際看護論	看護職は、国際的な視野から健康課題を考えることができ、国際社会で活躍できる能力を養うことが必要となってきた。本授業では、国際看護の概念を学習し、世界における健康問題とそれに対する戦略の潮流を理解したうえで、実際の国際看護活動に必要な知識を得る。さらに日本国内における国際看護として在留外国人への支援について学習する。	1
2.保健医療学部看護学科	有本梨花	NAD403-M01	看護研究方法	【概要】 看護研究の目的と必要性を理解し、研究に関する基礎的な知識・方法を習得する。看護研究の意義、文献検索方法、研究計画書の作成方法、調査方法について学修する。	2
2.保健医療学部看護学科	櫻井信人	NAH206-M01	精神健康看護学概論	【目的】 本授業では、精神の健康の概念、精神保健福祉法、精神疾患や精神科医療の現状を理解し、精神看護の実践に向けた基礎的な知識を習得することを目的としている。 【概要】 精神看護学Ⅰの教科書を中心に講義を進める。途中、知識の確認として中間テストを実施する。また「こころ」をテーマとしたグループワークと発表を行う。15回中6回はオンデマンドを用いて実施し、毎回知識の確認テストおよび授業ノートの記載を求める。	2
2.保健医療学部看護学科	高田美子	NCH215-M01	老年健康看護学概論	【目的】 この科目は、老年期を生きる人の理解を深め、その健康と暮らしを支える老年看護の基本となる知識を身につけることを目的とする。 【概要】 高齢者の特徴を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、それらが高齢者の生活にどのような影響をもたらしているのかを理解する。また、高齢者を取り巻く保健医療福祉の現状と課題を学び、超高齢社会における老年看護の役割と責務について考察する。	2

2.保健医療学部看護学科	中山和美	NCH216-M51	老年看護援助論	<p>【授業目的】 老年期における心身の変化や特有の疾患・症状について理解し、高齢者とその家族に対する基本的な看護援助の知識・技術の修得をねらいとする</p> <p>【概要】 高齢者の日常生活、おおよび加齢に伴う症状や徴候のアセスメントの方法、加齢と疾病に伴う生活機能の変化と、喪失した生活機能の再構築と適応に向けての看護援助の方法について学習するとともに、脳梗塞の高齢者の紙上事例を用いて看護過程を展開する</p>	2
2.保健医療学部看護学科	畑吉節未	NCH217-M01	在宅看護学概論	<p>【目的】 この科目の目的は、地域の人々の尊厳と権利を守り、生活と健康を支援するための地域・在宅看護の基本的な理念や機能を修得することである。</p> <p>さらに、地域全体を支える看護やケアのしくみを理解するとともに、地域で暮らす人々とその家族に看護を提供する際に必要な支援の基本とその根拠を修得することである。</p> <p>【概要】 ・個別性が高く、総合的な看護が求められる「地域・在宅看護」の特徴、地域・在宅看護に求められる専門性、多職種との連携を含め活動を支える社会システムの中で看護が担う役割と課題を学びます。</p> <p>・具体的には、地域での生活と健康を支えるために多様な機関から提供されているケアの概観を踏まえ、地域・在宅看護の機能、対象、理念、地域における看護実践の変遷や基本倫理を理解する。</p> <p>・地域・在宅看護に関する制度や地域包括ケアシステムの基礎的知識を踏まえ、地域・在宅看護実践の主要分野である訪問看護の制度と機能を理解する。さらに、家族支援の基本を学び、多職種連携を基盤としたケアマネジメントと療養移行支援を理解する。</p>	2
2.保健医療学部看護学科	藤原和美	NCH301-M51	公衆衛生看護学概論	<p>【目的】 この科目では、公衆衛生看護活動の理念、公衆衛生看護活動の対象・場・展開方法について学び、公衆衛生看護活動に必要な基本的考え方及び知識を修得します。</p> <p>【概要】 保健師は看護と公衆衛生の両方の専門性を有し、地域全体の健康度の向上を目指して個人、家族、集団、地域全体を対象に公衆衛生看護活動を展開します。保健師は公衆衛生の視点から、地域全体の健康課題を見出し、解決策を提案する力が求められます。この科目では、公衆衛生看護活動の理念、対象、場、展開方法について学び、地域の健康課題に対処するための基本的な考え方や知識を身につけます。本科目は公衆衛生看護学を学ぶ上で最も基本となる重要な科目です。今までに学んだ看護学の知識を基盤としながら、本科目を学び、保健師としての専門性と公衆衛生への理解を深め、地域の健康を守るための知識や考え方を身につけましょう。</p>	2
2.保健医療学部看護学科 単位数合計					13
3.教育学部教育福祉学科	春木裕美	EED202-A01	社会的養護	<p>【目的】 社会的養護とは、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに養育困難を抱える家庭への支援を行うことである。現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷を学び、社会的養護と子ども家庭福祉の関連及び子どもの権利擁護について理解を深める。社会的養護の制度や実施体系を学び、現状と課題について考察し、社会的養護のあり方を学ぶ。</p> <p>【概要】 ・貧困や虐待から子どもの命と人権を守るためにはどうすれば良いのか、子どもにとっての最善の利益とはどのようなことなのだろうかを常に問いながら学んでいく。</p> <p>・社会的養護の歴史の変遷、現代の貧困や虐待の実態を学ぶことで、社会的養護の意義について理解する。</p> <p>・社会的養護の制度や実施体系について、動画の視聴や書籍等を通して理解していく。</p> <p>・保育士に求められる専門性や支援の在り方を追求する。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中西一彦	EED217-A51	言語表現技術	<p>【目的】 幼児期言語の特徴を理解し、言語表現技術の具体的展開のための技術を習得することをめざす。</p> <p>【概要】 言語表現の基礎基本として「聞く・話す、読む、書く」を位置づけることができる。</p> <p>幼児期においては、ことは獲得段階として「話す・聞く・演じる」ことへの興味・関心が高まることを学ぶ。</p> <p>幼児期に積極的かつ意欲的な態度を身につけるには、周囲にいる大人の関わり方が大きく影響することを学ぶ。</p>	1
3.教育学部教育福祉学科	大西洋史	PED203-A51	初等図画工作科教育法	<p>本科目では、図画工作科の「目標」「指導内容」「指導方法」「評価」を子どもの成長と表現・製作の発達といった観点や美術教育の歴史の変遷などから捉え直し、この教科の意味や価値についての認識を深めます。</p> <p>その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、図画工作科に関する理論的・実践的力の形成をはかります。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	大平誠也	PED205-A51	初等体育科教育法	<p>小学校における体育科の各運動領域の特性やねらいを理解し、学年や発達に応じた指導計画を作成する力を育成し、学習指導案作成を通して教材研究し、授業を創造的に展開していける力を養成する。</p> <p>その際、運動が持つ特性を理解し、児童が運動それぞれが持つ固有の楽しさに触れることができるような学習活動を展開する。</p>	2

3.教育学部教育福祉学科	松尾和宣	PED301-A01	初等社会科教育法	<p>【目的】 この科目は、小学校教師として社会科の目標を理解し、授業の基礎を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 ○小学校社会科の基本理念（目標・内容等）について学ぶ。 ○学習内容に応じた指導計画の作成法。指導計画に基づく指導案の作成。 ○作成した指導案の検討・分析などを通して、授業技術について学ぶ。 ○模擬授業やグループワークなどの体験を通して、授業の奥深さ、面白さを体感する。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	中尾繁樹	SED201-A51	障害者教育総論	<p>障害児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、特殊教育から特別支援教育への移行を学習していく。平成19年度から始まった特別支援教育は、これまでの「場の教育」から「機会の教育」へと内容が変化している。その基本的な理念と内容について学ぶことで、特別支援教育の今日的課題を考察していきたい。</p> <p>それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、障害のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。障害児（者）の問題は、人間発達の問題であり、全ての教育の基本になるものである。教職を目指すもの全てに必要な内容であり人としての人間観を育むことで、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科	梶正義	SED305-A51	肢体不自由教育	<p>肢体不自由児（者）の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の実態、教育課程、指導内容・方法、自立活動、進路等について具体的な実践を学ぶこととする。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での教育の中核活動である授業を中心に、「個別の指導計画」及び「個別的教育支援計画」、並びに評価と授業改善について学習する。さらに肢体不自由教育における特徴的な指導に於いて、身体の動き、感覚的アプローチ等の実践的理論と指導における活用を理解する。それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の授業の進め方、指導法等を理解し、将来の進路に向けた資質向上につながるようにする。</p>	2
3.教育学部教育福祉学科 単位数合計					13
4.経営学部経営学科	本田あけみ	BRI203-A01	ビューティビジネス論	<p>授業の目的 9兆円と推定されるビューティビジネスの市場規模（ビューティサロンビジネス、コスメティックビジネス、ブライダルビジネス）における美容業界について理解するとともに、その1/3を占める、ヘア・メイク・ネイル・エステ等のビューティビジネスについてサロン経営の視点から解明する。</p> <p>授業の概要 ビューティビジネスの視点からビューティの各分野における専門的なビジネス内容及び技術者評価指標としての各種免許制度・検定制度、および人材育成について理解する。 また、日本以外のビューティビジネス事情を知ることで自分と異なる他の価値観を学ぶ。</p>	2
4.経営学部経営学科	福本哲也	BSS304-A01	ビジネスプロモーション	<p>【目的】 本講義では、マーケティングの基礎理論をベースに、MM（マーケティングミックス）という戦術の核となる「4P」、その中の「Promotion」に照準をあてたマーケティング技術を学ぶ。特にインターネットにより高度化したSNSなど情報発信手法や交通広告やビルボード、デジタルサイネージなどSPメディア、また販売促進策の核となるイベントづくりや運営について深く学んでいく。</p> <p>【概要】 本講義では、ビジネスプロモーションの理論を実感できる事例紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、マーケティングを実際に使える技術にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2
4.経営学部経営学科	杉林弘仁	MNG101-A01	経営学概論	<p>●目的： 私たちが毎日使っているものは企業が作り出したものです。そして皆さんも数年後にはこの企業に加わることになります。私たちのいる社会は企業の活動がなくては存在し得ない社会なのです。つまり、経営学を学ぶことは、これから皆さんが社会にはじめて踏み出すうえで、とても役立つ知識となります。経営学は、決して「お金儲け」の道具ではありません。現代社会に生きる人々にとって必須の入口であり、「良い経営をするための方法を研究する学問」です。しかしながら、経営学がうみだしてきた知識は膨大です。それだけに経営学の範囲は広く、内容も複雑です。まず、この講義の目的は、まず、はじめて経営学を学ぶ受講生に、企業経営の根幹にある経営学がどういふものであるのか、経営学の全体像を理解してもらいます。そして、これから4年間をかけて経営学を勉強していくために必要な基本的な知識を身につけてもらいます。また、学習をしていくあいだに、皆さんは、経営学は企業だけのものではないことに気がつくと思います。経営学は、自らの夢を作り出し、それを人との関わりの中で実現していく、自らをマネジメントする手法でもあるのです。経営学概論のもうひとつの目的は、自らが学び考え、夢を作り、それに向かって行動ができるようになることでもあります。</p> <p>●概要 テキストとして『1からの経営学(第3版)』を使いますが、参考書としてあげている『ゼミナール経営学入門』も時々使ってテキストの内容を補足します。 各回の講義では、経営学を学ぶことは難しいものではなく、現実に使える道具（実学）であることがわかるように、私たちの身近にある出来事や企業の今の事例を使って、経営学の全体像をわかりやすく解説していきます。</p>	4

4.経営学部経営学科	北村正仁	MNG212-A01	中小企業論	<p><b>【目的】</b> この科目は、日本の中小企業の経営をマネジメントの視点から捉えることを目的とします。</p> <p><b>【概要】</b> 皆さんは「中小企業」と聞いて、どのようなイメージを持ちますか？ 実は、日本の企業数の99.7%が中小企業で、66.0%の人が中小企業で働いています。つまり、中小企業は日本経済にとっても大きな役割を果たしています。その中小企業の経営を、経営学（マネジメント）の視点から考えながら学修します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業とは</li> <li>・中小企業の環境適応マネジメント</li> <li>・中小企業の資源統合マネジメント</li> </ul> <p>日本の中小企業の概況を理解し、社外環境にいかに対応しているのか、社内資源をいかに活用するのかなど、中小企業経営をマネジメントの視点から考えます。そのうえで、中小企業経営の特徴・課題・可能性を考察していきます。</p> <p><b>【対象者】</b> 次のような将来像を描いている人に薦められる科目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大企業だけでなく中小企業の魅力や可能性を知りたい（将来就職を考えている）</li> <li>・家業の手伝いや事業継承を考えている（将来中小企業の経営に携わる）</li> <li>・将来は自らの夢を実現するために「起業」を考えている（起業して経営をやりたい）</li> </ul>	2
4.経営学部経営学科	福本哲也	MNG215-A51	アントレプレナーシップ論	<p><b>【目的】</b> アントレプレナーシップとは、リスクテイキングを厭わず、能動的に新たな試みに取り組んで行動する「企業家（起業家）」の活動と精神のことをいう。本講義では、今経営者だけでなく、経済社会を構成する全てのプレイヤーに必要なアントレプレナーシップを学ぶ。そして、職業選択の一つとして、起業があることを理解し、また、自分たちが起業家になることが可能であることを知っていく。</p> <p><b>【概要】</b> 本講義では、アントレプレナーシップを実感できる事例紹介・人物紹介を交えながら、できるだけ分かり易く説明を行う。また、講義では単なる座学に終わることなく、アントレプレナーシップを自身のキャリア形成の指針にまで高めるため、ほぼ毎回、個ワークまたグループワークを行い、実践的でメリハリのついた学習ができるようになっている。</p> <p>なお、講義内容を次週までに公開するので、予習として読み込んでくる必要があるのと同時に、毎回、パソコンを利用して個ワーク、グループワーク、情報収集や報告を行うので、必ず持参すること。</p>	2
4.経営学部経営学科	村田昌彦	MNG305-M01	セーフティマネジメント論	<p>具体的な各種の危機事案対応などを通じて、「地域防災減災論」で学んだ防災・減災についての体系的な知識をさらに深め、災害をイメージする力をより高めることにより、様々な危機に対する事前対策、予防、対応など、社会のいかなる分野においても有効となる安全・安心を担保する力を身につける。</p>	2
4.経営学部経営学科 単位数合計				14	
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科	片山真理	EDE202-Y81	英語科教育法Ⅱ	<p><b>【目的】</b> 英語科指導に必要な知識を身につけ、実際の指導現場で用いることを考えられるようになる。また、様々な指導法の長所・短所とその改善点について考えられるようになる。</p> <p><b>【概要】</b> 四技能および発音、文法、語彙などの指導法に関する従来型の問題点を指摘し、これを改善するための指導法について、グループでの議論（内容によって日本語または英語）を通して考えます。</p>	2
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科	片山真理	EDE203-Y51	英語科教育法Ⅲ	<p>This course is for those who are seeking for teaching job after graduation. This course examines successful foreign language education; how foreign languages are taught and learned in the world. Various teaching methods which have been used around the world.</p> <p>本科目は、将来教職に就く人を対象とする。日本国内外での外国語教育（特に英語教育）の状況や指導法について学び、指導計画・授業計画の立て方などについて学ぶ。</p>	2
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科	杉林弘仁	MNG101-Y02	経営学概論	<p><b>●目的</b> 私たちが毎日使っているものは企業が作り出したものです。そして皆さんも数年後にはこの企業に加わることになります。私たちのいる社会は企業の活動がなくては存在し得ない社会なのです。つまり、経営学を学ぶことは、これから皆さんが社会にはじめて踏み出すうえで、とても役立つ知識となります。経営学は、決して「お金儲け」の道具ではありません。現代社会に生きる人々にとって必須の入口であり、「良い経営をするための方法を研究する学問」です。経営学がうみだしてきた知識は膨大です。それだけに経営学の範囲は広く、内容も複雑です。</p> <p>まず、この講義の目的は、まず、はじめて経営学を学ぶ受講生に、企業経営の根幹にある経営学がどういうものであるのか、経営学の全体像を理解してもらいます。そして、これから4年間をかけて経営学を勉強していくために必要な基本的な知識を身につけてもらいます。</p> <p>また、学習をしていくあいだに、皆さんは、経営学は企業だけのものではないことに気がつくと思います。経営学は、自らの夢を作り出し、それを人との関わりのおかげで実現していく、自らをマネジメントする手法でもあるのです。経営学のもうひとつの目的は、自らが学び考え、夢を作り、それに向かって行動ができるようになることでもあります。</p> <p><b>●概要</b> テキストとして『1からの経営学(第3版)』を使いますが、参考書としてあげている『ゼミナール経営学入門』も時々使ってテキストの内容を補足します。各回の講義では、経営学を学ぶことは難しいものではなく、現実に使える道具（実学）であることがわかるように、私たちの身近にある出来事や企業の今の実例を</p>	2
5.国際コミュニケーション学部グローバルコミュニケーション学科 単位数合計				6	

6.国際コミュニケーション学部 観光学科	宗田好史	BSS305-Y51	ビジネスモデル・アセスメント	目的：ビジネスモデルとは何か？その意味を理解し、フレームワークを活用してビジネスモデルを読み解き、改善し、新たに構築する力を身に付けます 概要：ビジネスモデルは、大きく「コンセプト」「事業戦略」「スキーム」「収支」によって語られます。それぞれの要素について、皆さんの身近なビジネス・サービス・商品の事例を用いながら、グループワークなどの演習を交えて具体的に理解を深めます。また、世の中の主なビジネスモデルについて、その内容を具体例を交えて解説していきます。	2
6.国際コミュニケーション学部 観光学科	寺井太郎	BSS206-Y01	ビジネスモデル・デザイン	目的：ビジネスモデルとは何か？その意味を理解し、フレームワークを活用してビジネスモデルを読み解き、改善し、新たに構築する力を身に付けます 概要：ビジネスモデルは、大きく「コンセプト」「事業戦略」「スキーム」「収支」によって語られます。それぞれの要素について、皆さんの身近なビジネス・サービス・商品の事例を用いながら、グループワークなどの演習を交えて具体的に理解を深めます。また、世の中の主なビジネスモデルについて、その内容を具体例を交えて解説していきます。	2
6.国際コミュニケーション学部 観光学科	李容淑	TOU209-Y51	インバウンドツーリズム産業論	インバウンドツーリズムとは何か、日本経済におけるインバウンドツーリズムの重要性を理解し、インバウンドツーリズム産業全体を経営学視点において把握をする。インバウンドツーリズムは、成長著しいアジアをはじめとする世界の需要を取り込むことによって、人口減少・少子高齢化が進展する日本において、交流人口の拡大によって地域の活力を維持し、社会を発展させることに大きく貢献する。また、インバウンドツーリズム産業の核となる旅行業、宿泊業、輸送業、航空・空港業、お土産販売業、フードビジネス業等について、マクロ視点から、それぞれの業界の特徴と問題点の考察した上で、個々の企業をミクロ的な問題を取りあげ、その企業経営のあり方や、将来展望を模索するものとする。インバウンド観光産業は毎年成長し、2019年には訪日外国人旅行者が3,188万人を突破し、消費額は4兆6千億円にも到達したが、3年以上コロナ禍で低調が続いた状況を乗り越えて、2024年には訪日外国人3,186万人、消費額は8.1兆円に達成し最高記録を立てている。特に2025年の世界万博の開催と2029年IRが大阪地域に誘致する計画を控えている。ポストコロナに対応する新戦略への大転換の必要である。その時代に合わせた専門知識を持つ人材が必要であろう。 この講義では日本政府が主導する日本の未来を支える重要国家産業として専門教育戦略に従うインバウンド人材を育成することを目標としている。	2
6.国際コミュニケーション学部 観光学科	小林弘二	TOU222-Y01	観光交通システム論	【概要】 観光は、観光客（観光主体）が観光地や施設（観光客体）を訪問する行動であり、その行動を助長、促進する交通や観光情報（観光媒体）によって構成されている。また、観光地は観光客の移動にそって演出される。見る場所や位置によってその観光素材は変化し、同じ景色でもバスと電車の車窓からでは結果的に違う景観を見せる「場を提供する」という役割も持っている。 さらに、交通は、乗り物自体が観光資源としての役割を演じるケースも多々みられる。 このように観光における交通には、単に移動手段としての役割のほか、観光地の魅力向上の仕掛けとしての役割を持つ観光には欠かせない要素になっている。 この授業では交通産業を観光と連携した視点から学ぶ。 【目的】 この授業では交通と観光の密接な関係性や相互に及ぼしあう影響や効果を十分に理解し、地域社会での課題解決と交通機関が果たす役割や創造的価値を学ぶことを目的とする。	2
6.国際コミュニケーション学部 観光学科	寺井太郎	MRK102-Y51	マーケティング論	目的： 1. 身近な題材を用いた実践的なワークを通じて、マーケティングの視点を体得する 2. 自らのキャリアも含め、世の中で起こっていることをマーケティング視点で考える習慣を付ける 3. マーケティングに対する興味・関心を高め、受講後も学習を継続する動機付けとする 概要： 10年前までのユニバーサル・スタジオ・ジャパン（U S J）は、来場者が思うように集まらず、経営破綻の危機に陥っていました。それが今や、日本を、いや世界を代表する一大テーマパークとして、たくさんの来場者で賑わっています。そのU S Jの危機を救ったのが、「マーケティング」の力なのです。 この講義では、U S Jの奇跡の復活など、今まさに起こっていること、これから起こることを、マーケティングの視点で体感し理解します。授業では、テーマパークの新アトラクション企画など、学生の皆さんが具体的にイメージしやすい、身近で親しみのある題材を多用します。	2
6.国際コミュニケーション学部 観光学科	宗田好史	TOU221-Y81	M I C E ・ I R 概論	目的：M I C E とは何か、I R とは何かを理解するとともに、そのメリット・デメリットと、日本と世界におけるこれまでと今後を概観します。 概要：MICE(Meeting, Incentive, Convention, Exhibition / Event)、IR(Integrated Resort)は、ともにこれからの社会・観光ビジネスを語るうえで、もっとも重要な概念と言えます。オリンピックを含むスポーツイベント、万博などの博覧会、日々各地で行われている展示会など、具体例を用いてM I C E のメリット・デメリットを理解します。 後半のグループワークでは、I R について、大阪府・市が候補地として立候補している大阪 I R 計画について研究し理解を深めます。	2

6.国際コミュニケーション学部 観光学科	小林弘二	TOU327-Y01	トラベルエージェンツ論	<p>【概要】 旅行関連ビジネスには、一般的に宿泊ビジネス、旅行業ビジネス、交通ビジネス、娯楽ビジネス、料飲ビジネス、土産物ビジネス等があり、前の3つが基幹的旅行ビジネス、後の3つ等が付随的旅行ビジネスと呼ばれている。授業では、旅行ビジネスの中核的役割を担っている旅行業（トラベルエージェンツ）のビジネスについて、その仕組みや役割、ビジネスモデルについて、市場環境変化を踏まえて時系列に分析し学ぶ。</p> <p>【目的】 観光立国実現に向けて、旅行需要の地域分散化（オーバーツーリズムの改善）、旅行サービスの品質管理という課題が挙げられている。このような課題を解決に向けて、今後、日本の旅行業者（トラベルエージェンツ）に求められる機能や役割について、地域との関り、新たなビジネスモデルの構築など、授業の学びを通じて理解を深めて行くことを目的とする。</p>	2
6.国際コミュニケーション学部観光学科 単位数合計					14
7.グローバル学部グローバル学科	横山雅彦	FLE133-Y01	英文法と英音法	英語4技能の基本となる「英文法」と「英音法」を学ぶ。異文法は英文を組み立てる際のルール、英音法は英文を「音」にするときのルールであり、これらはいわば「車の両輪」である。ただし、これらのルールは単に知っているだけでは、実際のコミュニケーションでは役に立たない。大切なのは、スポーツと同じように、不断の練習によって血肉化させることであり、この授業の目的もそこにある。	1
7.グローバル学部グローバル学科	伊藤創	JPE101-Y01	日本語の構造 I	日本語のシステムを、様々な観点から捉え直すことによって、日本語(ひいては言語そのもの)に対する知識を深め、また柔軟で論理的な思考を養うことを目的とする。特に、日本語が話せない外国人の視点から見た日本語とはどのようなものなのか、つまり「外国語としての日本語」の特徴を掴めることを目的とする。	2
7.グローバル学部グローバル学科	伊藤創	JPE201-Y01	日本語教育事情	本授業では以下の項目を学ぶ。 ■日本語がどのように教えられているのか、あるいは教えられてきたのか、日本語教育の現在の状況と歴史について。 ■現在の日本にいる留学生や外国人労働者がどのような状況にあるのか、その実情と彼らが(ひいては日本が)抱える課題について。 ■上記と関連して、そもそも、どのようにして日本語が今のようになっただのか、その成り立ちや日本語の位置づけについて。 これらを通じて、日本語教育、日本語学習者を取り巻く環境の実態と課題を知り、それら課題を解決するための方策を考える能力を身につけることを目標とする。	2
7.グローバル学部グローバル学科	越山泰子	JPE202-Y51	日本語コミュニケーション	(目的) この授業では、日本語を外国語として効果的に指導するために、日本語を取り巻く社会的言語活動やコミュニケーションの方法について学習します。 (概要) 講義を通して様々な言語研究を参照し、言語使用とコミュニケーションについての基礎知識を用いながらグループワークを通して日本語の特徴について客観的に考え、身近な「日本語らしい」言語現象について説明していきます。	2
7.グローバル学部グローバル学科	越山泰子	JPE303-Y01	日本語教授法	(目的) この授業では、外国語として日本語を教えるための基礎知識について学びます。 (概要) 日本語の特徴を理解しながら、教案の組み立て方、授業の流れ、教材分析を通して、ことばを効果的に教える方法を学びます。	2
7.グローバル学部グローバル学科	越山泰子	JPE304-Y51	日本語教育の実践と評価	(目的) この授業では、外国語としての日本語教育における実践と評価の方法について学習します。 (概要) 日本語の様々な特徴、評価法における実例を参照しながら、日本語教育の実践と評価に関する基礎知識を養います。	2
7.グローバル学部グローバル学科	寺井太郎	MRK206-Y52	マーケティング	目的： 1. 身近な題材を用いた実践的なワークを通じて、マーケティングの視点を体得する 2. 自らのキャリアも含め、世の中で起こっていることをマーケティング視点で考える習慣を付ける 3. マーケティングに対する興味・関心を高め、受講後も学習を継続する動機付けとする 概要： 10年前までのユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）は、来場者が思うように集まらず、経営破綻の危機に陥っていました。それが今や、日本を、いや世界を代表する一大テーマパークとして、たくさんの来場者で賑わっています。そのUSJの危機を救ったのが、「マーケティング」の力なのです。 この講義では、USJの奇跡の復活など、今まさに起こっていること、これから起こることを、マーケティングの視点で体感し理解します。授業では、テーマパークの新アトラクション企画など、学生の皆さんが具体的にイメージしやすい、身近で親しみのある題材を多用します。	2
7.グローバル学部グローバル学科 単位数合計					13
8.心理学部心理学科	横川滋章	CL1208-Y01	臨床心理学概論	<p>【目的】 この科目は臨床心理学に関する基本的な知識を身に付けることを目的とします。</p> <p>【概要】 (横川担当分) こころの健康と異常について学び、今日の臨床心理的援助に大きな影響を与えた3つの理論・技法として、力動的心理療法と分類されるS.フロイトから始まる精神分析、C.G.ユングの分析心理学、そしてパーソンセンタード（来談者中心療法）として知られるC.R.ロジャーズの考えを紹介し、臨床心理学への基礎的理解を進めることを目的とする。 (寺村担当分) 臨床心理学の全体構造を把握し、臨床心理学の歴史について知る。そしてカウンセリング、アセスメントの基礎について学ぶ。さらに「心の病」や自傷等について考える機会をもつ。これらのことを通じて、臨床心理学全般についての基礎的な事柄について学ぶことを目的とする。</p>	4

8.心理学部心理学科	山本真由美	CLI309-Y71	障害者（児）心理学	<p>本科目は、公認心理師（国家資格）養成に必要な25科目の中の必須科目である。</p> <p>【目的】  (1)身体障害、知的障害及び精神障害について概説する。  (2)障害者(児)の心理社会的課題と必要な支援について概説する。</p> <p>【概要】  各障害の支援のための制度やそれに関わる様々な機関についての基本的知識と支援の在り方について概説する。</p>	2
8.心理学部心理学科	大松光寿	CRI101-Y01	犯罪学概論	<p>【目的】この科目は、最広義の犯罪学（刑事学）の学びとして、犯罪情勢や警察が行う各種取り組み内容を理解することを目的とします。</p> <p>【概要】具体的には、犯罪情勢の把握と各種犯罪の問題点や対策について、刑事、生活安全部門に重点をおいた警察活動を通じて学びます。</p>	2
8.心理学部心理学科	中山誠	CRI203-Y03	犯罪・災害報道論	<p>この科目で身につける知識・技法</p> <p>① 犯罪・災害の報道が理解できる。  ② マスメディアに関する知識が獲得できる。  ③ マスメディア情報に対する客観的な対応が身に付く。</p>	2
8.心理学部心理学科	高橋浩樹	CRI306-Y01	サイバー犯罪論Ⅰ	<p>目的：情報収集、分析力を身に付け、データに基づく論理的思考力を養うことを目標とします。</p> <p>サイバー犯罪の現状、傾向を学ぶことにより、現代社会において必要とされるサイバーセキュリティに関する知識・サイバーリスクマネジメント力を養成すること目的としています。</p> <p>概要：現代社会がおかれている「サイバー空間の脅威」を正しく認識し、そのリスク軽減を図るため、サイバー犯罪の手法やその対策、法制度に関する知識を習得します。</p>	2
8.心理学部心理学科	田中亜裕子	PSY108-Y01	教育心理学	<p>【目的】  この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身につけることを目的としています。</p> <p>【概要】  教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。</p>	2
8.心理学部心理学科 単位数合計					14
9.社会学部社会学科	松田忠喜	PED402-Y01	特別活動の指導法	<p>【目的】  特別活動は、小・中・高・特別支援学校の教育課程に位置付く教育活動です。したがって、学校現場では、自分が担当する教科に関わらず、すべての教師が特別活動の指導にあたることになります。</p> <p>そこで、本授業では、特別活動の教育的意義や目標・内容、指導法や評価の在り方等について理解し、実践的な指導力を身に付けるとともに、学びを今後の自己の生き方に生かすことができるようになります。</p> <p>【概要】  近年、グローバル化・情報化・少子高齢化・核家族化など急速な社会変化の中で、人間関係の希薄化が進み、子どもたちの自主性、社会性を身に付ける機会が激減しています。そこで、多様な集団活動や体験活動を通して「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を三つの視点とする特別活動の果たす役割を追究します。</p> <p>オンデマンドによる本授業では、新学習指導要領に基づいて行いますが、一方的な講義ではなく、ともに考え・ディスカッションする場や実際に模擬学級会を行うなど、学生側の自主的、主体的な活動を行うために対面授業も取り入れながら、特別活動の指導法を身に付けていきます。</p>	2
9.社会学部社会学科	山本真由美	PSY106-Y01	発達心理学	<p>【目的】  この科目では、生涯発達心理学の立場（人間は生涯を通して成長し続けるという立場）から、乳幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期、高齢期の過程において、各発達期の特徴と支援のあり方を理解することを目的とする。</p> <p>【概要】  発達の各領域、つまり、身体、運動、感覚・知覚・認知、注意・記憶、動機づけ・学習、言語・思考・知能、感情・パーソナリティ、コミュニケーション・社会性などを横糸、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、高齢期を縦糸とし、横糸と縦糸から発達を立体的に捉える。</p>	2
9.社会学部社会学科	田中亜裕子	PSY213-Y01	教育・学校心理学	<p>【目的】  この科目は、教師として活動する際に必要な教育心理学の知識を身につけることを目的としています。</p> <p>【概要】  教育心理学の意義および課題について考察した上で、知識の獲得過程、学習の動機づけ、学習の転移、個性・個人差と授業、学習指導について学ぶ。そして、教育心理学的なものの見方・考え方を養った上で、発達を踏まえた学習支援について基本的な考え方を理解する。</p>	2
9.社会学部社会学科 単位数合計					6